

令和元年度
生物多様性に関する企業意識アンケート
報告書

(環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 実施)

令和2年4月
札幌市環境局

1 実施概要

(1) 調査目的

生物多様性保全の取組を推進するための基本指針である「生物多様性さっぽろビジョン」に基づく施策をより効果的に推進するため、事業者の生物多様性に係る意識やニーズを的確に把握する。

(2) 調査期間

令和2年1月27日（月）～2月21日（金）

(3) 調査方法

ホームページ上に回答用紙を掲載し、各企業へ周知

(4) 調査対象者

札幌市内全事業者

(5) 調査内容

- ア 生物多様性と企業活動のあり方に関する意識
- イ 生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合
- ウ 生物多様性保全の取組の内容
- エ 生物多様性保全と費用の関係
- オ これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組
- カ 生物多様性保全の取組に必要な支援

(6) 回収数

412件（回答用紙不備のため問3～問5のみ：380件）

2 アンケート結果

次ページ以降のとおり

【該当ページ】

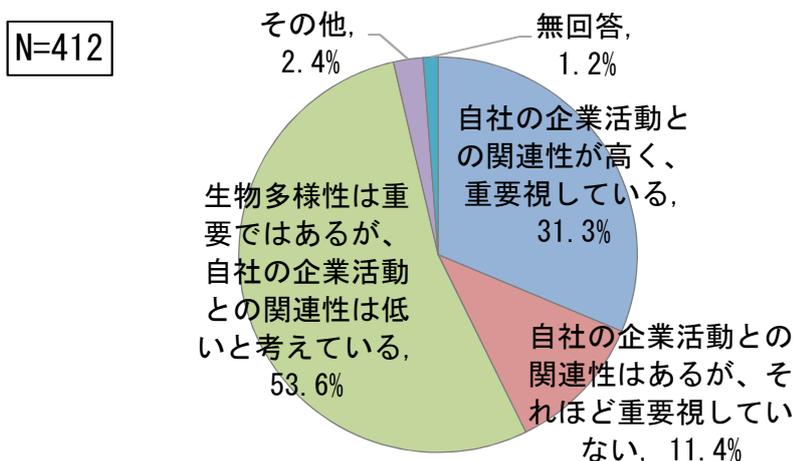
- ・生物多様性と企業活動のあり方に関する意識・・・・・・・・・・ P 3
- ・生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合・・・・・・・・ P 4
- ・生物多様性保全の取組の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・生物多様性保全と費用の関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- ・これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組・・・・ P 7
- ・他者が行う生物多様性保全の取組の中で関心のあるもの・・・・ P 7
- ・生物多様性保全の取組に必要な支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8

【各設問の結果】

(1) 生物多様性と企業活動のあり方に関する意識

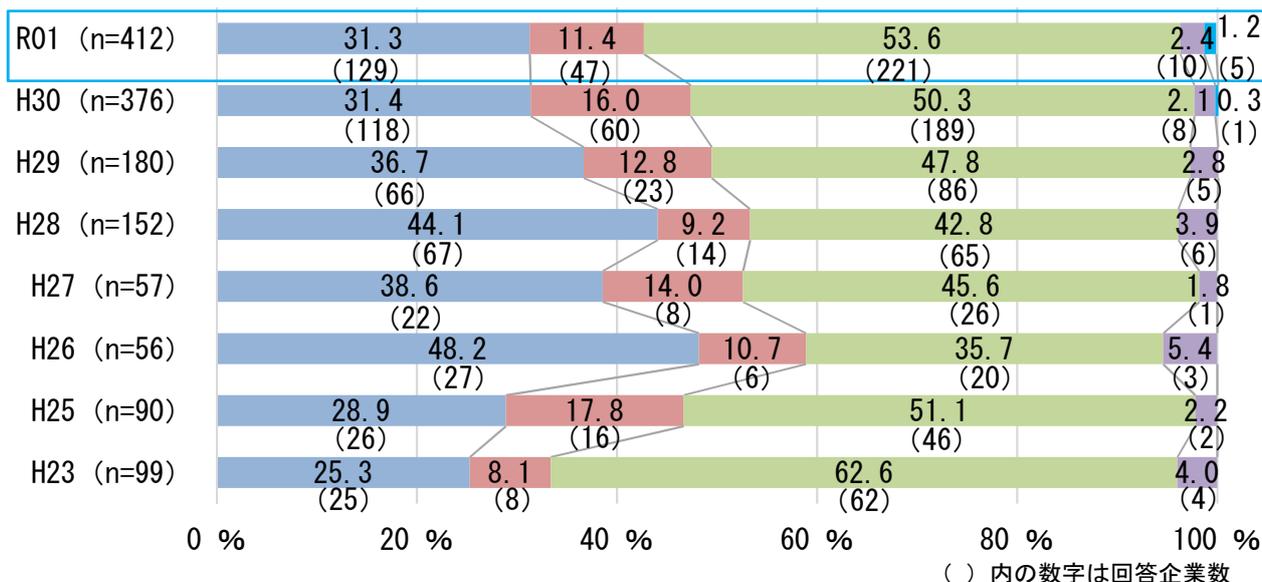
【問1】貴組織では、生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方についてどう思われますか。1つ選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方について、「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」は31.3%



○過去のアンケート結果との比較

「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」の割合は31.3%と、平成30年度の31.4%とほぼ同じ結果を示した。一方、「生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低い」と考えている割合は53.6%と、平成30年度から3.3ポイント増加し、平成26年度以降で最も高くなった。

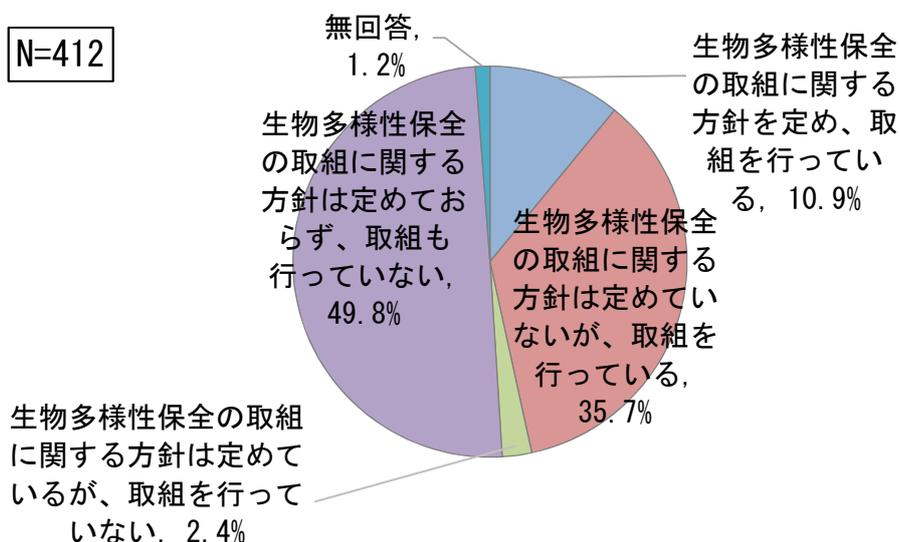


- 自社の企業活動との関連性が高く、重要視している
- 自社の企業活動との関連性はあるが、それほど重要視していない
- 生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている
- その他
- 無回答者数

(2) 生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合

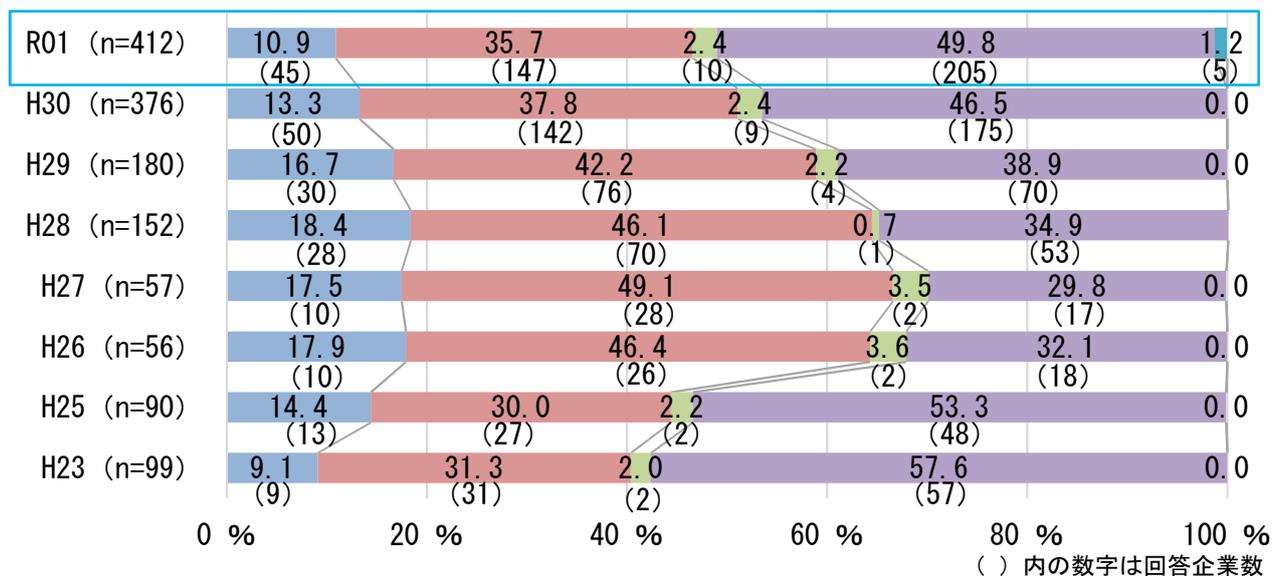
【問 2-1】貴組織では、環境に対する経営方針あるいは事業活動の中で、生物多様性の保全への取組について、どのように位置付け、取り組んでいますか。1つ選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組について、「方針を定め、取組を行っている」 + 「方針は定めていないが、取組を行っている」は 46.6%



○過去のアンケート結果との比較

取組を行っている企業の割合は 46.6%と、平成 30 年度から 4.5 ポイント減少し、平成 26 年度以降最も低くなった。



- 生物多様性保全の取組に関する方針を定め、取組を行っている
- 生物多様性保全の取組に関する方針は定めていないが、取組を行っている
- 生物多様性保全の取組に関する方針は定めているが、取組を行っていない
- 生物多様性保全の取組に関する方針は定めておらず、取組も行っていない
- 無回答

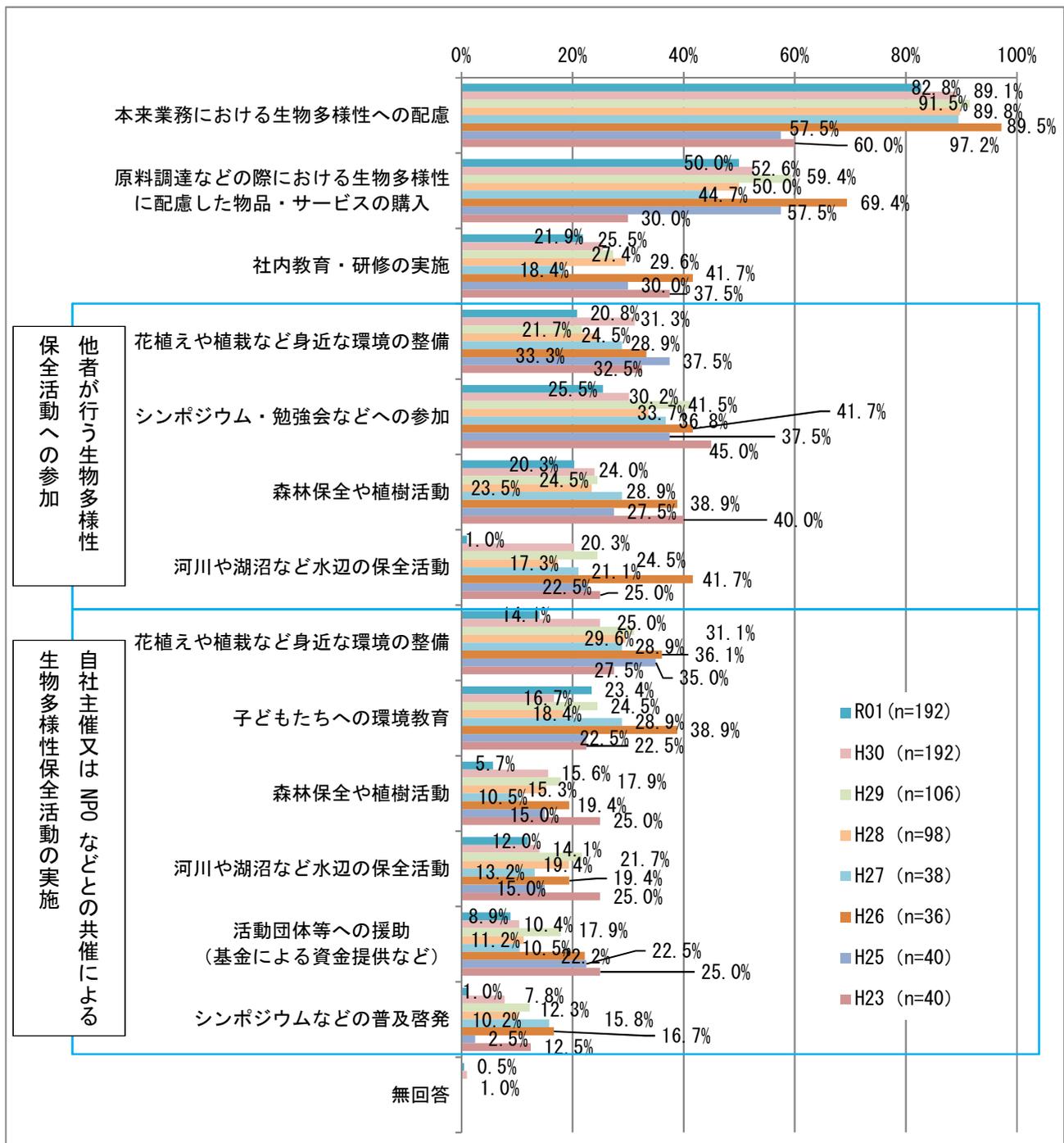
(3) 生物多様性保全の取組の内容

【問 2-2】問 2-1 で①（方針を定め、取組を行っている）、②（方針は定めていないが、取組を行っている）とお答えになられた方にお伺いします。生物多様性の保全への取組として、貴組織が行っているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 82.8%、「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」が 50.0%

○過去のアンケート結果との比較

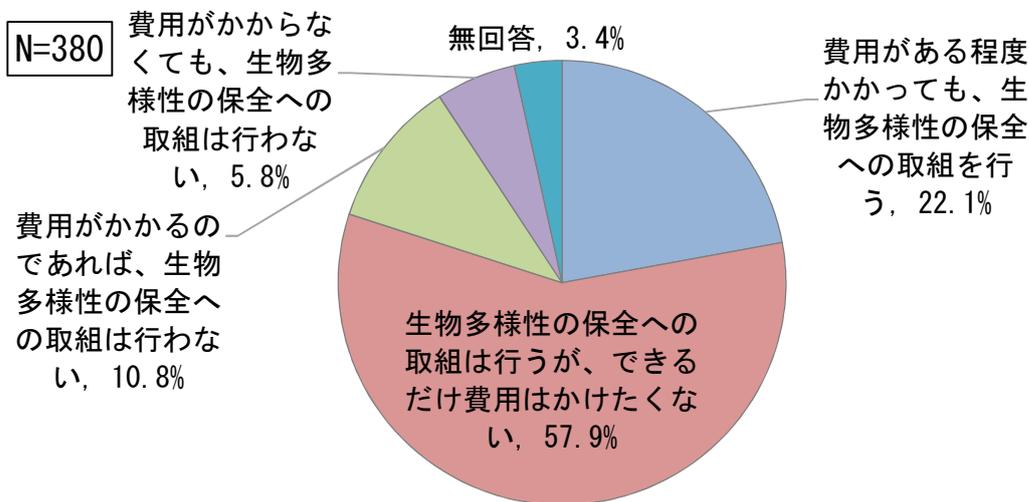
「本来業務における生物多様性への配慮」は 82.8%と、平成 30 年度から 6.3 ポイント減少した。また、「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」は、平成 30 年度から 2.6 ポイント減少し、50.0%となったが、目標値（50%）を達成した。



(4) 生物多様性保全と費用の関係

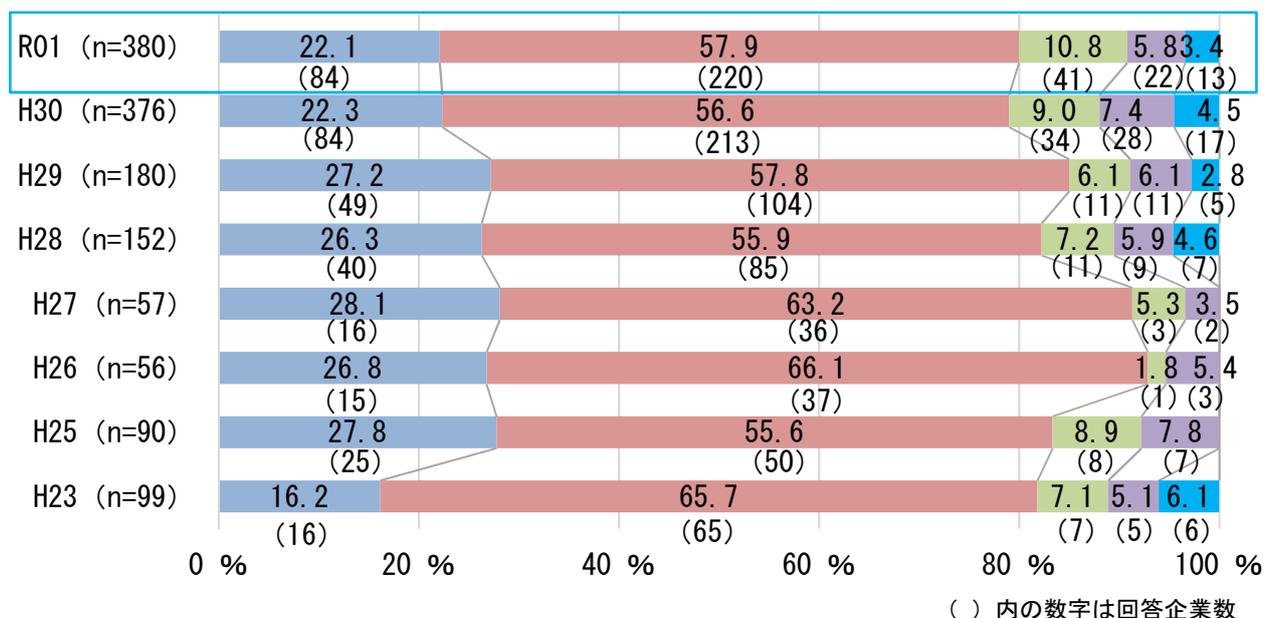
【問 3】生物多様性の保全への取組を実施する際の貴組織の考え方として、当てはまるものはどれですか？

生物多様性の保全への取組を実施する際の考え方として、「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」が 57.9%



○過去のアンケート結果との比較

生物多様性の保全への取組を行う意思のある企業（「費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う」＋「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」）の割合は、前年度とほぼ同様の結果となり、各年度とも 80%前後と高い割合で推移している。



- 費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う
- 生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない
- 費用がかかるのであれば、生物多様性の保全への取組は行わない
- 費用がかからなくても、生物多様性の保全への取組は行わない
- 無回答

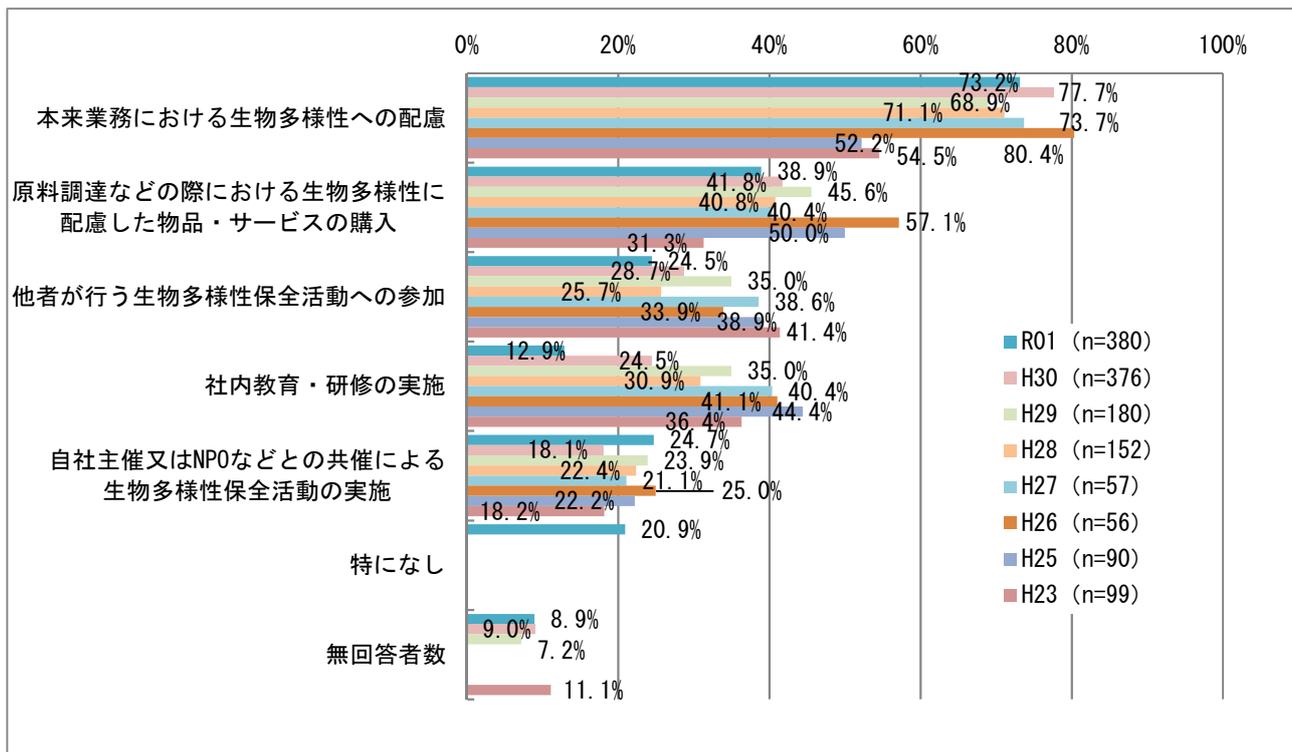
(5) これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組

【問 4-1】生物多様性の保全への取組として、貴組織がこれから行いたいと考えているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

これから実施したいと考えている生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 73.2%

○これまでのアンケート結果との比較

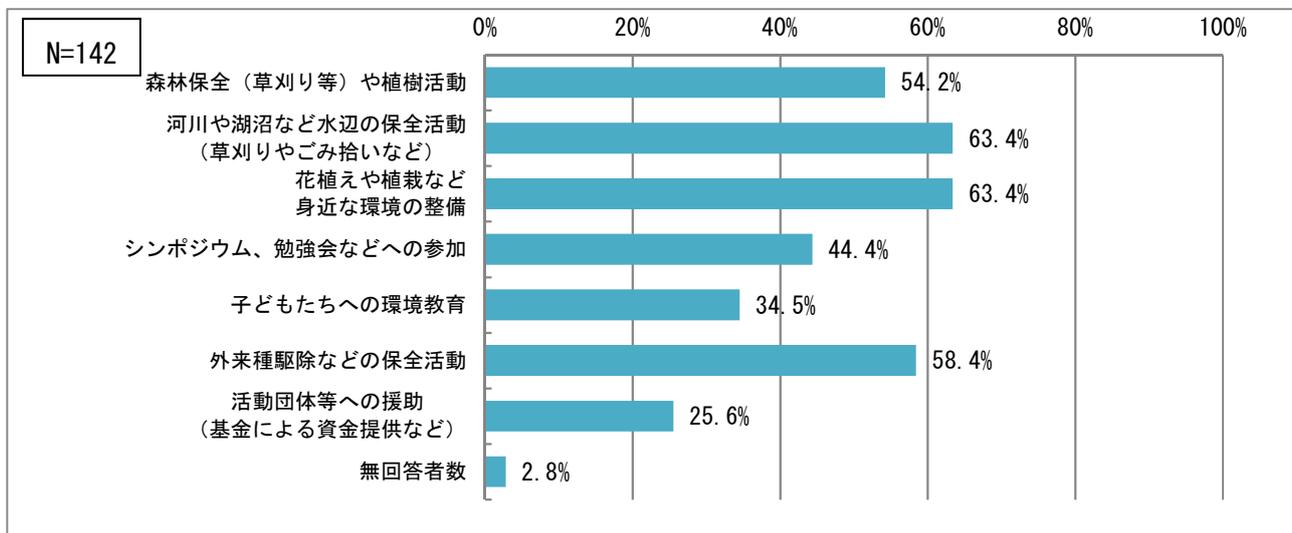
「本来業務における生物多様性への配慮」は、平成 30 年度から 4.5 ポイント減少し、73.2%となった。



(6) 他者が行う生物多様性保全の取組の中で関心のあるもの

【問 4-2】貴組織が関心を持っている他者（活動団体等）が行う生物多様性保全活動の取組をすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

関心を持っている他者（活動団体等）が行う生物多様性保全活動の取組として、「河川や湖沼など水辺の保全活動」と「花植えや植栽など身近な環境の整備」が 63.4%



(7) 生物多様性保全の取組に必要な支援

【問5】今後、貴組織が生物多様性の保全への取組を進めていくための支援として、何が重要だと考えますか。当てはまるものすべてを選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組に必要な支援として、「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」が63.9%

○過去のアンケート結果との比較

「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」は63.9%と、平成30年度と同程度であった。

「生物多様性に取り組む市民・NPO等とのパートナーシップの構築・交流」は、いずれも平成30年度から減少していたが、「経営層・従業員の意識向上のためのセミナー・シンポジウムの開催」、「生物多様性保全に要する資金に対する金利優遇や補助金など財政的支援」は前年度と同程度であった。

